

泌尿器科学（－Urology－）

I 教育の基本方針

調和のとれた医療を行うには、それを支える医療知識（科学）・技術（アート）そして倫理観（人間性）が求められる。大学院で行う研究は、その専門性ゆえ、視野が狭くなりがちである。泌尿器科学教室では科学、技術だけでなく、倫理観・人間性にも重きをおいた教育体制を整えており、医療知識・技術・倫理観を兼ね備えた臨床医の育成を目標としている。

II 年次毎の到達目標

1年次	基本的な知識を習得する。
2年次	各疾患の病因と病態に関する研究手法を修得し、研究計画を立案する。
3年次	計画に則って研究を実施し一定の成果を目指す。
4年次	研究成果を原著論文にする。学位取得。

III 担当教員・研究テーマ

教授	福原 浩	前立腺癌、ウイルス療法、腎癌、膀胱癌、尿路結石
准教授	多武保 光宏	尿路結石、泌尿器悪性腫瘍

IV 研究指導補助教員

講師	金城真美	田口 慧			
助教	中村 雄	舛田一樹	二宮直紀		
助教	紀伊寿彦	杉本一真	佐藤千紗	高橋秀行	堀川幸保

V 授業科目一覧

種別	科目名	単位	開講時期	標準履修年次
講義・演習	講義・演習	4	半期	1年次
実験・実習	実験・実習	8	通年	2年次又は、 1－2年次
専門分野 共通科目	課題研究	8	通年	3年次又は、 2－3年次
	研究論文演習	4	通年	3年次又は、 4年次

開講年度	2021	開講時期	半期	標準履修年次	1年次	単位	4
科目名	講義・演習						
担当教員	福原浩、多武保光宏、金城真実						
曜日・時限等	春学期：月曜日 4・5時限（15：00－16：30・16：45－18：15） 秋学期：月曜日 4・5時限（15：00－16：30・16：45－18：15）						
教室等	臨床医学研究棟5階503号室						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、泌尿器科学において必要とされる専門知識と技能を培う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 泌尿器科疾患に関する診断・治療についての基礎となる、尿路器官と男性の生殖器官についての解剖・生理・生化学を理解する。 2. 泌尿器科学特論での基礎知識（解剖・生理・生化学）を実際の診療で確認しながら、尿路・性器の主要疾患を理解する。 3. 泌尿器診断学・治療学の大きな柱である、泌尿器内視鏡の構造、特徴、使用方法、所見の取り方について学ぶ。 						
学習内容	泌尿器科学に関する最新の英語原著論文を抄読し、研究目的、方法、結果について理解し、当該研究の意義、問題点、残された課題について討論する。						
授業計画	回数	講義内容				春学期	秋学期
	第1回	総論				04/05	09/27
	第2回	基礎腫瘍学総論				04/12	10/04
	第3回	臨床薬理・臨床試験概論				04/19	10/11
	第4回	臨床腫瘍学総論				04/26	10/18
	第5回	シグナル伝達				05/10	10/25
	第6回	エピジェネティクスと遺伝子発現機構				05/17	11/01
	第7回	遺伝子導入と発現解析				05/24	11/08
	第8回	分子標的治療				05/31	11/15
	第9回	上部尿路内視鏡				06/07	11/22
	第10回	下部尿路内視鏡				06/14	11/29
	第11回	泌尿器内分泌学				06/21	12/06
	第12回	尿路結石学				06/28	12/13
	第13回	総括1				07/05	12/20
	第14回	総括2				07/12	01/17
	第15回	総括3				07/19	01/24
課題レポートに対するフィードバックはコメントを入れて返す。							
準備学習と授業外学習方法	授業計画のテーマについて事前に文献などを調べてくること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。 CITI Japan(e-learning)の医学研究者標準コース(15単元)を受講すること。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Campbell-Walsh Urology 12th Edition (Partin A et al. Eds)Publisher: Elsevier Published 2020 分子細胞生物学（第8版）東京化学同人 その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	口頭試問の実施（100%）						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2021	開講時期	通年	標準履修年次	2年次又は、1-2年次	単位	8
科目名	実験・実習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	原則として、毎週火-金曜日の午後（13：00-18：00） ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-5カンファレンスルーム、臨床医学研究棟5階、中央手術室、外来、ESWL室						
教育の基本方針	広い見地に立った研究を遂行できるよう、泌尿器科学において必要とされる専門知識と技能を培い、適切な情報の収集と分析ができるようになる。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特に解剖学を学びながら、術式を習得する。 2. 実際の診療に携わりながら、臨床データ、臨床検体を用いて臨床、実験およびデータ解析を行う。特に次の4点を重点に学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) シグナル伝達 2) エピジェネテックスと遺伝子発現機構 3) 遺伝子導入と発現解析 4) 分子標的治療 3. 内視鏡を実際に使用し、尿路上皮腫瘍、尿路結石の診断治療手技を取得する。 4. 体外衝撃波碎石術、経尿道的尿管碎石術を安全に施行できる。 5. 臨床例の症例報告ができる。 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	第 1- 60回 到達目標1～3の達成 第61-120回 到達目標4～6の達成 実験結果レポートに対するフィードバックはコメントを入れて返す。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Campbell-Walsh Urology 12th Edition (Partin A et al. Eds) Publisher: Elsevier Published 2020 分子細胞生物学（第8版）東京化学同人 その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	口頭試問の実施（100%）						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。						

開 講 年 度	2021	開 講 時 期	通年	標準履修年次	3年次又は、2-3年次	単 位	8
科 目 名	課題研究						
担 当 教 員	研究テーマにより決定する。						
曜 日 ・ 時 限 等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※参加が難しい場合には各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教 室 等	S-5カンファレンスルーム、臨床医学研究棟5階、中央手術室、外来、ESWL室						
教 育 の 基 本 方 針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自らが立案した研究計画にそって研究を実行できる。 2. 正しく統計処理ができる。 3. 結果を科学的に図表にまとめられる。 4. 実験内容を正しく記載し記録できる。 5. 追加実験を自分で立案できる。 6. 学会や医学研究科の研究報告会で発表できる。 						
学 習 内 容	研究テーマにより決定する。						
授 業 計 画	第 1- 10回 先行研究について 第 11- 15回 研究方法の検討 第 16- 99回 実験実施と検討 第100-120回 追加実験の検討 課題研究に対するフィードバックはコメントを入れて返す。						
準備学習と授業外の学習方法	学習した実験手技を繰り返し行い、安定で信頼性の高い技術を修得する。 研究テーマに沿った原著論文を読み疑問点を抽出すること。 学習指導書等に挙げた文献・参考書等を学期中に読むこと。 専門領域における他科のカンファレンスに参加し知識を深める。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Campbell-Walsh Urology 12th Edition (Partin A et al. Eds) Publisher: Elsevier Published 2020 分子細胞生物学 (第8版) 東京化学同人 その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成 績 評 価 方 法	研究成果の発表 (100%)						
成 績 評 価 基 準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備 考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。 質問等の受付は随時。						

開講年度	2021	開講時期	通年	標準履修年次	3年次又は、4年次	単位	4
科目名	研究論文演習						
担当教員	研究テーマにより決定する。						
曜日・時限等	履修者の研究内容によって個別に指導を行う。 ※各ケースで協議のうえ具体的な時間割を決定する。						
教室等	S-5カンファレンスルーム、臨床医学研究棟5階、中央手術室、外来、ESWL室						
教育の基本方針	研究テーマに関する実験・調査を反映させた研究計画を立てて、実際に研究を行い、その結果をまとめ、論旨をもって発表することを学ぶ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の成果を原著論文とする。 2. 国内外の学会、ポスターセッション、症例報告会等で発表を行い、質問者からの問いに適切に答えられるようにする。 3. 博士論文の完成 						
学習内容	研究テーマにより決定する。						
授業計画	第 1- 5回 論文データ収集 第 6-10回 引用可能な文献の選抜 第11-15回 論文の全体の流れの確認。 第16-30回 学位論文作成 学位論文として英文雑誌にアクセプトされるよう、図表の作成方法を含め指導する。						
準備学習と授業外の学習方法	今回指導した内容に基づき次回までに論文原稿の当該箇所を修正しておくこと。						
学習指導書 (テキスト・参考文献等)	Campbell-Walsh Urology 12th Edition (Partin A et al. Eds) Publisher: Elsevier Published 2020 分子細胞生物学 (第8版) 東京化学同人 その他、必要に応じて随時資料を配布する。						
成績評価方法	論文の作成 (100%)						
成績評価基準	25ページ「9.成績評価」又は、以下URLの「5.成績評価」を参照 http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/graduate/medicine/aboutus/outline/						
備考	上記の日時に参加できない者は、協議の上で具体的な時間割を決定する。質問等の受付は随時。						